

相互提案協働事業 報告書

平成 29 年 4 月 28 日

(あて先) 鎌倉市長



住所
郵便番号
団体名 特定非営利活動法人
鎌倉市市民活動センター運営会議
代表氏名 平塚 優

平成 28 年度事業報告会に先立ち、協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	コミュニティカフェを目指した鎌倉生涯学習センターロビーの活用検討
事業概要	カフェ、建築・インテリアに詳しい専門家を交えた市民で検討委員会を組織し、市民を対象にしたアンケート調査や参加型のワークショップを実施、その中で得られたアイデア・意見を参考に具体的なロビーの活用提案を盛り込んだ報告書を作成し、29 年度以降の改善指針とする。
市担当課	教育総務課生涯学習センター
事業実施期間 (継続中の事業については、継続に○をつける)	継続 開始 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 終了 平成 29 年 3 月 31 日
協働の形態	市提案協働事業
事業費	120,000円

<p>事業目的の達成 (継続中の事業については、現時点で判断する)</p>	<p><達成できた点> 専門家の意見や市民の声の反映など協働事業のメリットを活かしつつ、委員が役割を分担してほぼ計画通り報告書をまとめることができた。</p>
	<p><達成できなかった点> 計画していたワークショップは2回開催できず、1回のみ開催した。</p>
<p>成果・効果</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ロビー活用の基本コンセプトをまとめることができた。 2. アンケートの実施やワークショップの開催により、市民のニーズを最大限に盛り込んだロビーの活用提案ができた。 3. 今後の改善に活かし易いように提案を3つのレベルに分け、予算や難易度に応じて選択できるようにまとめた。 4. カフェ・インテリアの専門的な知見もふまえ、改善提案を盛り込んだ図面および家具・什器等の参考資料を付加することができた。
<p>課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)</p>	<p>添付「コミュニティカフェを目指した鎌倉生涯学習センターロビーの活用についての検討報告書」を参照ください。</p>
<p>今後の展望</p>	<p>ロビーの活用に必要なコンセプト、方針、施策は報告書に盛り込んだので、この報告書の提案実現に向けて、29年度以降の予算の編成や改善計画の策定など市担当課の役割を十二分に発揮して頂くことを期待する。</p>

添付資料

- 「コミュニティカフェを目指した鎌倉生涯学習センターロビーの活用についての検討報告書」
- ロビー活用検討委員会 事業費収支報告書 (決算書)

平成 28 年度 市民協働事業

「コミュニティカフェを目指した鎌倉生涯学習センターロビーの活用」

**コミュニティカフェを目指した
鎌倉生涯学習センターロビーの活用
についての検討報告書**

ロビー活用検討委員会

平成 29 年 3 月

はじめに

鎌倉生涯学習センターは、鎌倉駅に至近の地の利を活かし、学びの場、文化情報の発信拠点として多くの市民に利用されてきました。

このたび、鎌倉生涯学習センターの「顔」である1階のロビーを活性化し、より身近で親しみやすい施設になることを目指して、平成28年度市民協働事業「コミュニティカフェを目指した鎌倉生涯学習センターロビーの活用」に取り組むことになりました。

本事業を推進するにあたり、鎌倉生涯学習センターより3名、鎌倉市市民活動センター運営会議より4名、一般市民より4名、計11名で構成される「ロビー活用検討委員会」を立ち上げ、これまで約10ヶ月に渡り、視察や調査を通じて、議論を重ねて参りました。

幅広い年齢層の方々が気軽に利用できる雰囲気を作り出すことにより、喫茶コーナーはもとよりロビーの全体が「コミュニティカフェ」化、すなわち出会いや交流の場、人と情報が自然に集まる地域の居場所となることを目指して、考え得る様々な角度からロビーの改善策を検討いたしました。ここに協働事業の成果として報告書にまとめ、提案をいたします。

平成29年3月末日

ロビー活用検討委員会
委員長 宇治 香

鎌倉生涯学習センター

平成29年3月31日

<目 次>

1. ロビーの現状	・・・1
2. 課題の抽出	
2-1. 類似する他施設の視察（逗子市民交流センター）	・・・1
2-2. ロビーについてのアンケート	・・・2
2-3. ロビー活用を考えるワークショップ	・・・3
3. ロビーの基本コンセプト	・・・4
4. 課題解決のための改善策	・・・5
5. おわりに	・・・9
6. 付属資料	
6-1. アンケート結果（集計・フリーアンサー）	・・・12
6-2. ワークショップのまとめ	・・・16
6-3. ロビー平面図（現況図・改善案）	・・・20
6-4. 家具・什器等の仕様書と概算の見積り	・・・22
6-5. ロビー活用委員会議事録（第1～11回）	・・・26

1. ロビーの現状

鎌倉生涯学習センターのロビーは、8時半から22時まで、学習センター集会室の利用者をはじめ、ちょっとした休憩場所や簡易な食事など、基本的には誰でも利用が可能な空間である。常時ロビーの壁面を利用して、生涯学習に関する情報発信を行ったり、定期的には福祉施設の製品販売や市主催のフェスティバルなどの催事も行っているほか授乳室や観光客のトイレ利用も多い。お昼時12時前後やホールでイベントがある際の待ち時間には特に混雑している一方で、夜間のロビーは閑散としており、時間帯による利用のばらつきが大きい。また、日常的な利用者は高齢者が多く、利用者の年齢層にもやや偏りが見られるのが特徴的である。

こうした現状に対して、建物自体の老朽化も相まって、ロビー全体の雰囲気は暗く、特定の利用者が一部の場所を常用している、といった市民からの指摘もあり、あらためて誰にでも利用してもらえる明るいロビーづくりが望まれている。

2. 課題の抽出

以上のような現状をふまえ、本委員会では、1. 類似する他施設の視察、2. 市民に対するアンケート、3. ロビー活用を考えるワークショップの3つのステップを踏むことにより、ロビーの課題をあらためて抽出し、それを明確化して、ロビーの進むべき基本コンセプトを固め、具体的な改善策を提案することとした。

2-1. 類似する他施設の視察（逗子市民交流センター）

逗子市民交流センターはホール、会議室、図書館、市民活動センター、プールなどが一体となった複合施設であり、近隣の類似施設としては比較的新しく、使い易いという評判である。生涯学習センターの参考となる機能やデザインを求めて6月13日に同センターを視察した。



●小会議は机を集めて

●解放感のある明るいロビー



●使いやすい丸机



●利用ルールがわかり易く表示されている。

この視察から見てきた課題

- ①ロビーの雰囲気を決めるのは開口(採光)、天井高など空間的で複合的な要素である。
なかでも床の材質・色合いは非常に大きな影響がある。
- ②多様な利用者に対応して、利用のルールが明確になっており、分かり易く目につき易く表示されている。
- ③丸テーブルが適度な距離を保って配置されており、座りやすく、居心地もよい。
- ④観葉植物があると空間の雰囲気が和らぐ。

2-2. ロビーについてのアンケート

市民にロビーが現状どのように使われているかということと、ロビーに対する要望や改善の内容を調査するため、鎌倉市民を対象に8月15日～25日の10日間に渡り市内でアンケートを実施、141件の回答を得た。詳細は、付属資料の「ロビーについてのアンケート(集計・フリーアンサー)」参照。

このアンケート調査から見えてきた課題

- ① 飲食を含む休憩や待ち合わせでロビーを使う人が多く、情報収集や学習を目的とする利用が比較的少ない。
- ② ロビーのベンチを利用する人が多く、必要性を感じている反面、ベンチの大きさや高さ等の使い勝手に対する不満が見られる。
- ③ 授乳室の存在があまり知られていない。
- ④ 鎌倉生涯学習センターを利用したことがない方にその理由を尋ねたところ、何をやっている施設なのかわからない、入ってよいのかわからないという回答が多かった。

2-3. ロビー活用を考えるワークショップ

9月4日、公募した市民10名によるワークショップを実施。ロビーの現況を観察した上で、その活用を考え、提案内容を具体的に図面に落とし込むところまでの作業を行った。詳細は、付属資料の「ワークショップのまとめ」参照。



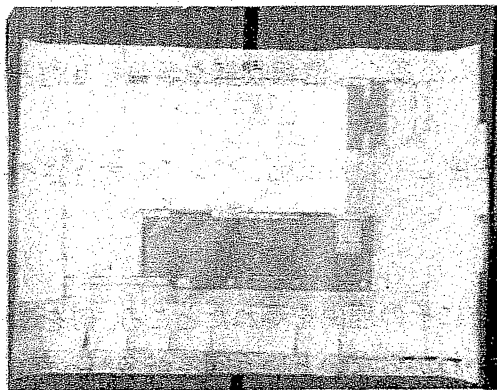
●ワークショップの手順を説明

●ロビーの現況を確認する

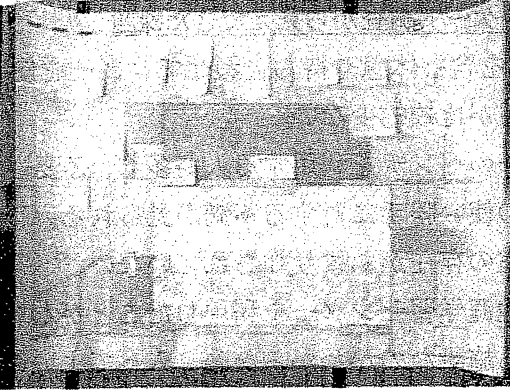


●グループに分かれて課題を討議

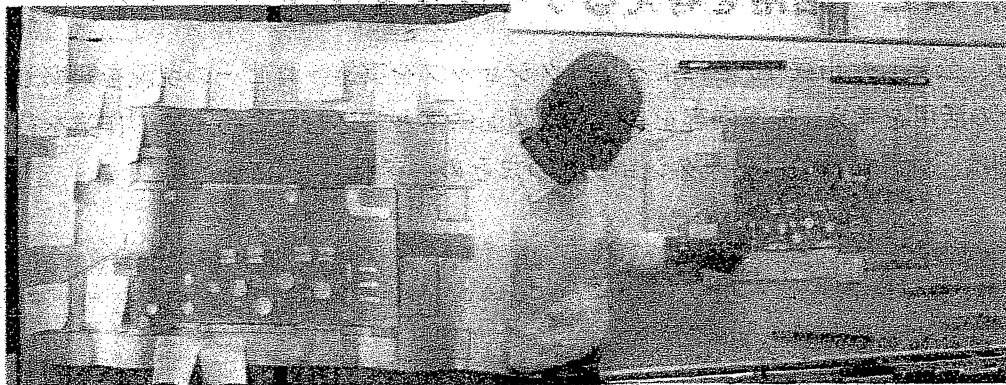
●解決策を図面に落とし込む



● Aグループの提案



● Bグループの提案



● Cグループの提案

●プレゼンテーションの様子

このワークショップを通じて見えてきた課題

- ①受付の位置が奥まっております、近づきにくく、利用しづらい。
- ②ロビー全体を明るくするためには、床材や照明の工夫が必要。
- ③少人数の打ち合わせや学習にも使えるようにテーブルは丸いほうが良い。
- ④授乳室だけでなく、子供用のスペースがあると親子で利用しやすい。
- ⑤カフェのスペースと機能が拡充されるとより多目的にロビーが利用できる。
- ⑥ロビーの多様な機能を利用者に伝えるためのサイン計画の見直し。
- ⑦ピロティを有効活用して、建物に入りやすくする。

3. ロビーの基本コンセプト

以上の課題および解決のためのアイデアを改善策としてまとめる前提として、本事業のタイトルにある「コミュニティカフェ」と「ロビーのあり方」に関する基本コンセプトについて委員の間で見解の相違が起きないように、以下のように確認を行った。すなわち

喫茶コーナーを含むロビー全体が、コミュニティカフェの機能をもった、幅広い世代の市民が自由で気楽に多目的に利用できる地域の居場所になること、そこに人と情報が自然に集まり、多様な学習の機会を提供し、新しい交流や文化が生まれるような場となることをめざす。

(生涯学習センターのロビーがコミュニティカフェをめざす理由は、生涯「学習」は、本人の気づきや自発を契機として始まるものであり、多世代が交流し、学習の情報が集まる場ではそうした契機が生じやすく、センターのロビーがその役割を果たす場になることは極めて自然なことであるため)

4. 課題解決のための改善策

基本コンセプトの実現に向けて、ソフト面、ハード面での改善策を以下に提案する。上記の諸課題は、相互に関連している部分があるので課題とその改善策を1対1に表記することは避け、分かり易いように改善策を場所毎に分けて記述した。さらに改善策は難度によって以下の3段階に分けて記述した。取り組みの優先順位やコスト配分を決める際の参考としていただきたい。

レベルA (LA) ~工事を伴うなどコストはかかるが、大きな効果が期待できる改善策
レベルB (LB) ~ある程度コストはかかるが、非常に効果的な改善策(是非実現したい!)
レベルC (LC) ~低コストながら効果的なすぐに取り組める改善策(明日から始めたい!)

■ロビーの家具・什器について

ロビー全体が、打ち合わせ、作業、勉強、囲碁将棋など多様な使い方に対応できるスペースとして利用されるようになることが改善のポイントとなる。この目的のために、机の大きさ、高さ、形状を見直し、机にあわせて椅子の高さ、個数、配置も大幅に見直したい。

(但し、現状の総着席数と同等の席数は確保する)家具類は、打ち合わせや作業など多様な使い方に応じて移動できることが望ましい。また、主にチラシ展示用の什器(スタンド、ラック)も統一感と検索性の向上など使い勝手の観点から見直したい。

- LA 1. ロビー機能の見直しにあわせて、机、椅子、カウンターなど家具を全面的に入れ替え、打ち合わせや作業がしやすい丸テーブルを多く配置する。机の配置や個数などは平面図参照のこと。
- LB 1. 既存の机や椅子も使いながら、要所に丸テーブルを置くなどして使い勝手の幅を広げる。囲碁や将棋は、65×45 cm幅の角テーブルが使いやすい。また、柱を囲むスペースはロビー機能の象徴として活用したい。このため、避難路の幅員を減少させることなく、立って利用できるハイテーブルとソファで構成する。
(ハイテーブルはパブリックコメントを書いたための机としても使える)
- LB 2. 広告用のワイドTVは既存の什器をやめ、天井からの吊り式にすると、スペースを広く使えるようになる。但し、設置者との契約があるので、事前の協議が必要。
- LC 1. チラシ展示用スタンドの高さやスタンドの色を統一して見やすくし、チラシの平置き台を廃止する。

■ロビーの床材、照明について

ロビー全体の雰囲気は暗く、外からの入りづらさ、居心地の悪さに影響を与えている。このことは、アンケートやワークショップ、他施設の視察などを通じて得た結論であるので、是非改善をしたい。特に床の色が全体の雰囲気に与える影響が大きい。

- LA 1. ロビー全体の床素材をはがして、明るい色調の床材に貼り替える。できればフローリングで、木目調が望ましい。
- LB 1. 柱の南側のみ、既存の床材の上に明るい色調の床材を貼る。
- LB 2. ロビーの雰囲気を明るくするために、観葉植物の鉢を柱の前に置く。
- LC 1. 現在使っていないダウンライトを点灯する。

■ポスター・チラシなど掲示物について

ロビーの情報発信機能として掲示物は重要であるが、壁面が秩序なく埋め尽くされており乱雑な印象をぬぐえない。乱雑さの解消と必要な人に必要な情報が目に入るように検索性の向上を狙った掲示の仕方の改善が必要である。

- LC 1. 掲示可能な場所、掲示物のサイズや掲示する高さなど掲示全般に関する現在の基準をベースに足りないところは補足を加え、遵守する。(特に利用者からの苦情はない)
- LC 2. チラシ展示用スタンドの高さやスタンドの色を統一して見易くする。

■サイン計画について

館内の誘導表示が目立たない。後付けで目立たせている表示も他の表示との統一感に欠けるところがある。これらを見やすくし、要所に設置する。表示する場所や位置、大きさの統一などに配慮したサイン計画とする。

- LB 1. 館内誘導表示をデザインし直し、見やすいピクトグラムを掲示する。ピロティの時計台のサインとも連動させる。サイン計画は、専門のグラフィックデザイナーに依頼することが望ましい。

■美術品の展示について

ロビーの絵画と獅子像は、美術品として相応しい場所、落ち着いて鑑賞できる環境に移設することが望ましい。美術品の移設によって空いたスペースは有効活用する。

- LB 1. 獅子像、絵画をホール入口のホワイエや地下ギャラリーなどに移設する。

■受付について

利用者とのコミュニケーションを図る上で重要な場所であり、ロビーの中でも特に目立たせたいところ。本来入口に近い位置が望ましいが移設が難しいため、現状の位置を変えず

に利用者の利便性を向上させる。受付の補助機能として、予約関連専用端末をロビーに 2 か所（受付・ギャラリー側エレベーター付近）に設置してあり、施設の空き状況、写真、利用案内等の情報提供を行っている。

L B 1. 受付の位置を分かり易くするために、入口付近から見易い位置にサインを表示する。

L B 2. 予約関連専用端末のうち 1 台を受付に近い角テーブル上に移設する。

■キッズスペースおよび授乳室について

平面図（付属資料参照）のように自動販売機やロッカーを移設することが望ましいが、すぐに実現することは難しい（自販機は契約が 3 年残っており、ロッカーは移転先の確保の課題がある）。3 年後を目指して段階的に提案を実現できるようにしたい。

L B 1. 当面はキッズスペースを含む授乳室を現状のまま維持し、キッズスペースの代替処置として、カフェに近い場所にベビーコーナーを設けると共に、近くの丸机を子ども用に高さを抑えたものにする。

■喫茶コーナー（カフェ）の機能拡充について

コミュニティカフェの中核機能として、利用者とのコミュニケーションサービスの拡充を図る。現状カフェの運営主体は、鎌倉市市民活動センター運営会議だが、以下のような機能拡充を実現するためには、中間支援組織としての限界があり、運営主体を変更して対応することも考えられる。

L A 1. カフェ外壁に上げ下げ窓を設置し、販売ができるようにする。カフェの存在を外に向かって知らせる効果が期待できる。

L A 2. カフェ入口のガラス壁・サッシュを撤去し、グリルシャッターを設置することでカフェの雰囲気明るくなり、利用し易くなる。

L A 3. 人員体制を見直し、弁当の販売などメニューの幅を広げる。

L A 4. 夜間まで営業時間を延長し、簡単な夕食もとれるようにする。

L B 1. 受付機能の幾つかを代行する。直近のイベント情報の掲示や講座の案内などセンター利用者への情報提供をサポートする。

L B 2. 物販用の展示机をカフェの入口に配置する。

■ロビーの利用ルールについて

これまでの休憩所・待合的なロビー利用から、打ち合わせ、作業、勉強、囲碁将棋など多様な使い方に対応できるロビーのルール作りが必要である。利用時間や利用場所の制限もルール化し、また、有料利用の集会室とのバランスや他の利用者の迷惑等にも配慮する必要がある。（現在は、姉妹都市物産展や福祉施設関連の販売等の公用に限って許可）

- LC 1. ロビーの既存利用ルールを見直し、新たなルールを作る。以下のような条件が盛り込まれていることが望ましい。
- 市民のためのコミュニティスペースとしての利用を優先する。
 - 特定の人が長時間占有することがないように、利用時間と場所の制限を設ける。
 - 打ち合わせ等に伴う机や椅子の移動を可能にする。原状回復を条件として。
 - ロビーの一角を使ってミニイベントやワークショップができるようにする。
 - 一人の利用は、できるだけカウンターを使うようにしていただく。など

■ロビーの夜間活用について

夜間のロビー利用者が少なく、閑散としている。幅広い市民の利用を考えた場合、駅に近い立地条件を活かして、夜間ロビーの利用が増えるような環境をつくりたい。

- LB 1. カフェの営業時間を延長する。
- LB 2. ロビーの一角を使ってミニイベントやセミナーができるようにする。特に音などに配慮し、他の利用者に迷惑がかからないようにマナーを守って利用する。予め登録した団体に限り、スペースや内容を限定して貸し出す。

■ピロティについて

ロビー以前の問題として、アンケートの回答にもあったように、建物自体の入りにくさが幅広い世代のロビー利用を大きく阻害している。開かれた居場所の導入部として、ピロティの改善は必須である。まず、生涯学習センターがどういう機能をもった建物であり、市民に解放された場所であることを外に向かって積極的にアピールすること、できるだけ建物内の人の動きが外から見えること、が改善のポイントとなる。

- LB 1. 館名をライトアップする照明器具を設置する。
- LB 2. 時計台の前面を利用して、この建物の機能（ホール、会議室、トイレ、授乳室、休憩コーナー、作業コーナー、喫茶コーナー等）をわかりやすくピクトグラムで表示する（建物内のサイン計画とも連動していることが望ましい）。
- LB 3. 屋外用の椅子やベンチを常設し、気軽に立ち寄れる場所であることを示す。ピロティの壁際にカフェテーブルと椅子を置く。
- LC 1. イベントの告知など、ガラスパネル面を活動的、効果的に使う。
- LC 2. 塗装あるいはライティングで入口の丸柱を目立たせ、入り易い雰囲気を作る。
- LC 3. ピロティのダウンライト（電球）を明るいものに取り換える。
- LC 4. 生涯学習センターの営業時間およびカフェの営業時間を明示する。
- LC 5. カフェの店名看板を道路側へ寄せる。

■概算費用について

以上の改善策を盛り込んだ、ロビー平面図および家具・什器等の仕様書と概算見積りを付属資料に添付する。改善の優先順位やコスト配分を決める際の参考とされたい。

5. おわりに

ロビー活用検討委員会は、各々の分野で活躍する様々なバックグラウンドを持った委員で構成され、月に1回という限られた時間の中ではありましたが、多様な角度からロビーの活用について活発な議論ができました。また、委員間の議論だけでなく、アンケートやワークショップを通じて、一般の市民の意見も広く取り入れることで、議論の幅を持たせることができたのが、本委員会を特徴づけることになりました。特に市民に参加を呼び掛けたワークショップでは、熊倉委員の周到な準備のもと、それまでは思いもよらぬアイデアが次々と飛び出し、その後の具体的な改善内容の検討に大きな影響を与えました。

本提案の核心部である改善策では、ややもすると施設のハード面の改善に偏りがちになるところを意識し、利用者に対するサービスの観点からのソフト面の改善も補いつつまとめる作業を行いました。さらに改善策を策のままで終わらせないよう、現実的に改善が可能なレベルから理想的な改善レベルまで3つの段階に分ける構成にいたしました。資金面での限界があることはもとより十分承知の上で理想的な改善レベルまでの提案を行ったのは、生涯学習センターのロビーに対する市民の期待度の高さを委員全員が受け止めたからこそです。

ここに挙げた改善策が一つでも多く実現されることを委員一同願ってやみません。今後のロビー活用は、生涯学習センターの皆さまに委ねられますが、現実的な改善に甘んじることなく、知恵と工夫で理想に向かって前進することを切にお願いして報告を終わりたいと思います。

最後になりましたが、本委員会の会場確保に尽力いただき、施設運営の立場からの情報提供をされた生涯学習センターの朴澤委員、押山委員、青木委員、日頃生涯学習センターを利用する立場から現場の意見をいただいた小久保委員、竹沢委員、市民活動を支援する立場から積極的な発言を繰り返された浅野委員、阿部委員、西畑委員、渡邊委員、専門的な見地から貴重なご示唆をいただき、さらにワークショップの準備・運営に尽力いただいた熊倉委員、そしていつも明るく委員会をリードされた宇治委員長、これら委員全員の協働なしに本事業は成しえなかったことを付け加えます。

ロビー活用検討委員会 委員

宇治 香 (ソンベ・カフェ)

熊倉 洋介 (有限会社熊倉洋介建築設計事務所)

小久保 和子 (生涯学習センター推進委員会)

竹沢 京子 (鎌倉混声合唱団ムジカおさらぎ)

朴澤 徹範 (鎌倉生涯学習センター)

押山 忠久 (鎌倉生涯学習センター)

青木 貴司 (鎌倉生涯学習センター)

浅野 雅樹 (鎌倉市市民活動センター運営会議)

阿部 栄子 (鎌倉市市民活動センター運営会議)

渡邊 公子 (鎌倉市市民活動センター運営会議)

西畑 直樹 (鎌倉市市民活動センター運営会議)

6. 付属資料

6-1. ロビーについてのアンケート（集計・フリーアンサー）

6-2. ワークショップのまとめ

6-3. ロビー平面図（現況図・改善案）

6-4. 家具・什器等の仕様書と概算の見積り

6-5. ロビー活用委員会議事録（第1～11回）

ロビーについてのアンケート（集計）

総数：141件

Q1、どちらにお住まいですか

1. 鎌倉市内⇒鎌倉 76 腰越 7 深沢 1 大船 13 玉縄 5
 2. その他（ 39 藤沢、逗子、葉山など ）

Q2、年代

1. 10才未満 0 2. 10代 3(2.1%) 3. 20代 8(5.6%) 4. 30代 11(7.8%)
 5. 40代 11(7.8%) 6. 50代 20(14.2%) 7. 60代 26(18.4%)
 8. 70代 49(34.7%) 9. 80代以上 13(9.2%)

Q3、性別を教えてください。（任意）

1. 男性 46(32.6%) 2. 女性 95(67.4%)

Q4、鎌倉生涯学習センターを利用されたことがありますか

1. ある 129(91.5%) 2. ない 10(7%) 無回答 2(1.4%)

Q5、鎌倉生涯学習センターの主な利用目的について。2つまで選択可

1. 集合会室・音楽室・美術創作室・和室の利用 95 2. ホール 79
 3. 地下ギャラリー 27 4. ロビー 36 5. ピロティ（物産展等）11
 6. きららカフェ 24 7. トイレ 33 8. その他（ ）3

Q6、ロビーを利用される方に伺います。利用目的を教えてください。（複数回答可）

1. 飲食 29 2. 休憩 50 3. 待ち合わせ 49 4. 打ち合わせ 25
 5. 授乳 4 6. 情報収集 17 7. 学習 14 8. 囲碁・将棋 4
 9. その他（ ）7

Q7、ロビーの利用状況について、当てはまるものを選んでください

	よく利用する	たまに利用する	1, 2回使用	利用なし
きららカフェ	18	32	13	38
授乳室	2	1	2	53
受付	8	30	18	33
ベンチ	26	52	14	15
自動販売機	8	25	12	41
コピー機	4	26	13	46
掲示コーナー	13	34	13	39

裏へお進みください

Q8、現状のロビーについて必要性と満足度をお聞かせ下さい

必要性			満足度			
	必要	不要		満足	ふつう	不満
きららカフェ	85	4	きららカフェ	29	46	1
授乳室	74	2	授乳室	11	35	0
受付	82	2	受付	28	54	1
ベンチ	106	4	ベンチ	32	45	15
自動販売機	91	11	自動販売機	21	56	1
コピー機	79	10	コピー機	16	54	6
掲示コーナー	91	7	掲示コーナー	21	54	4

Q9、鎌倉生涯学習センターを利用したことが無い方にお伺いします。
理由をお聞かせ下さい(複数選択可)

1. 入っていいのかわからない 7
2. 建物が入りづらい 3
3. 何をやっている施設かわからない 8
4. 利用する必要がない 3
5. 時間帯が合わない 1
6. 楽しくなさそう 2
7. その他 ()

Q10、ロビーに対する要望や改善のご意見がございましたら、ご自由にお書き下さい。

次頁のフリーアンサー参照。

アンケートにご協力頂き有難うございました。

鎌倉生涯学習センター ロビー活用検討委員会
〒248-0006 鎌倉市小町 1-10-5
電話：0467-25-2030

フリーアンサー（アンケートのコメント欄の抜き書き）

平成 28 年 9 月 3 日

鎌倉市市民活動センター運営会議

西畑

- ・ロビーのベンチの掛け心地が最悪でした。
 - ・若いお母さんも気楽に座って、おしゃべりができるような場所であると良いと思います。
 - ・建物自体が古いのもう少し明るく、広々とした感じにして頂けないか。勿論、昭和レトロな感じも良いが、逗子や他の地域に対して古臭い感じがするので。
 - ・「きららカフェ」について「男性の行き場があって良かったなあ」といつも思っています。
 - ・高齢化社会になって年取った人達が集まれる場所は貴重です。
 - ・ホールに上がる時、受付に申し出なければならないのが、時間がかかり不便。
 - ・乳母車でエレベーターを利用してホールに行く時、受付を通してお願いしなければならず、不便。
 - ・もう少し明るい雰囲気が良い。
 - ・トイレをもう少しきれいにして欲しい。
 - ・掲示コーナーがいつも雑然とした感じ、工夫が必要だと思います。
 - ・地方の物産展をすることには賛成、熊本の支援などをなさるとよいと思います。
 - ・ソファを快適なものにしてほしい。
 - ・是非、市民に開放していただきたい。子供食堂などに活用してはいかがだろうか。夕方、子供に食材を提供する場に活用すれば貧困対策にもなる。
 - ・夜は閑散としています。何か利用法を考えては如何でしょう。
-
- ・受付の場所をもっと入口近くにしたらほうが質問しやすい。
 - ・チラシの並べ方を部門別にする。
 - ・外の掲示版は何のためにあるのかわからない。
 - ・入口前のスペースを有効に利用できないか。（ツアーの待ち合わせ場所になっている）
 - ・ロビーの柱まわりが利用できていない。
 - ・壁まわりに簡単な椅子とテーブルを置いてみてはどうか。
 - ・グループで囲碁をしている方々のテーブルを別の場所に移してはどうか。例えば地下の踊り場とか。
 - ・ロビーの椅子は深深としたものはいらないと思う。
 - ・トイレを洋式にしてください。
 - ・補助椅子をもっと多く置いて頂けると助かる。ソファは移動できないので。
 - ・昼休みは昼食の方々に急に混み合うのでイスが足りない。もう少し増やして欲しい。

- ・学生が勉強できる自習室のようなものを作ったらいいと思います。
 - ・落ち着いたクラシックの曲などBGMを流して欲しい。
 - ・緑が少なく、明るさがない。
 - ・雰囲気が暗い。内装も古く、長期間手入れがなされていない様子。
 - ・明るい雰囲気にして、待ち合わせし易いようにイスを多く配置して欲しい。
 - ・観葉植物を置くと明るくなる。
-
- ・ロビーは、センター利用者の集合場所またはお休みどころという意味合いが大きいと思う。ベンチに勝手に座って良いのかちょっと戸惑うし、常連の人達のお顔が強く印象に残り、「だれでも自由に」の感じがしない事が残念です。
 - ・鎌倉駅までのアクセスが悪い。車で行くと駐車場に困る。
 - ・明るく誰もが利用しやすい雰囲気のあるロビー。
 - ・ソファではなく、大きな丸テーブルとイスを置く。
 - ・夜の活用を考えて欲しい。
 - ・ちょっとおにぎりを食べたりするのにロビーがあると便利です。子どもを連れている時は特にそうで、お茶を飲んだり休憩やトイレを利用させてもらっています。
 - ・きららカフェの充実を。小田原市の同様施設を参考にしてください。
 - ・きららカフェの席数が少ない。ロビーを自由に使えるようにしてはどうか。
 - ・水飲器の設置。
 - ・きららカフェのコーヒー、紅茶の提供は無休にすべき。
 - ・きららカフェでの過度の物品販売は好ましくない。
 - ・1, 2人で休憩できるベンチと4人程度で打ち合わせ、おしゃべりできるテーブル+イスのスペースが混在せずに、うまくレイアウトされているとよい。
 - ・鎌倉の市民活動についての掲示と近隣市を含めた文化・芸術関係の催しの案内がわかり易く分類され、掲示されているとよい。
 - ・照明とインテリアの工夫で、もう少しセンスのよい空間を作ってはどうか。建築家やデザイナーの意見も参考になると思います。
 - ・鎌倉の表玄関として、花とか植物を使ってもう少し美しくあればと思います。
 - ・若い人が少ない。テーブル等もう少し考えてはいかがでしょうか。
 - ・誰でも自由に利用でき、休息や飲食のための場所として今後も使われることを望みます。ただ、ホームレスの方や入浴していない方の臭いが気になり、私自身は利用できません。シャワー室など自由に無料で使える施設を作り、身体をきれいにさせていただくよう勧めただけませんか。

以上

ワークショップのまとめ

2018.09.06

作成：浅野、西畑

名 称	ロビー活用を考えるワークショップ
実施日時	平成 25 年 9 月 4 日 (日) 14:00~16:00
実施場所	鎌倉生涯学習センター 第 5 集会所
参加状況	鎌倉市民 10 人参加
司会進行	熊倉 協力ファシリテーター 阿部、西畑、渡邊、 受付等 青木、浅野、押山、小久保、竹沢、朴澤
目 的	ロビーの活用に関する市民目線の具体的なアイデアを集める。
WS 手法	スケッチ、ブレインストーミング、プランニングの 3 段階を踏んで 参加者がアイデアを出し合い、具体的にロビー図面に落とし込む。
準備資料	ロビー白図面、家具シール
成 果	3 班からそれぞれロビーの活用につながる改善案をいただいた。 具体的には以下の通り
	A 班…コンセプトは「様々な世代が集まりやすくなること」 相談がしやすいように受付は手前に。 人数を融通できるように丸テーブルに集える。 また、ソファを並べてキッズスペースを設置する。そこにキッズ用の 椅子を置くことで、子供の面倒をみつつ、親子連れ同士が会話をでき るようにする。
	B 班…受付は入口近くに、掲示スペースもより手に取りやすい位置に移動す る。床、照明を明るくし、テーブルは丸テーブルに。さらに、TV の コンテンツをより市民に有益なものに変更する。例として活動してい るサークル情報等。 きららカフェのスペースをピロティやロビー内にも広げ、子ども愛堂 的な運営を行う。
	C 班…家具の配置はよくないので、ゆったりと。ピロティにもベンチを置き、 人が入りやすいように考える。 また、授乳室等の設備を知らない人が多いので、張り紙等で PR を行 う。 きららカフェはもっと広くしたいが、スペースが限られているため難 しい。

生涯学習センターロビー活用検討委員会

9月4日 ワークショップのメモ

A班

- ・東北物産展が良い。空いてるスペースを活用している。
- ・川口市 子どもが利用しやすい。子ども用の椅子がある。イベントがタッチでわかるようになっている。
- ・埼玉鴻巣駅のそば、市の3、4階建の図書館、映画館、入口の照明が明るい
- ・フードコートオープンパーテーションでくくる。
- ・教室、複合施設
- ・丸テーブルがある。飛行場のロビー
- ・返山市交流センターがよい。くつろぐ施設より活動できる場所
- ・サービスエリア。新東名のロビー。トイレの中にソファがある。
- ・女性用、男性用が違う。
- ・シンのある場所を変え、有効に活用できるスペースにする。
- ・きららカフェを利用し、お母さんがゆっくり出来るように赤ちゃんを見てもらうシステムがあるとよい。
- ・授乳スペース、きららカフェ等と人が賑わえる場所にする。
- ・授乳スペースがあるので、使いやすいうようにしている。赤ちゃんが遊べるキッズスペースがあるとよい。
- ・高齢者と若い子育て中の人交流できる場になるとよい
- ・ロビーの照明がくらい
- ・外から見たら中が見えない
- ・囲碁、将棋の場所を他にした方がよい。専用になっている。
- ・入りづらい
- ・情報がありすぎて、探せない。バラバラ。
- ・縁倉は年季が入っていてよい。
- ・子どもがいたらごめんなさいという気持ちになってしまう。
- ・丸いテーブルが良い。
- ・待ち合わせに癒している。
- ・カフェの人が明るい。
- ・市の電話を受ける人が愛着が良い
- ・休館日が少ない
- ・囲碁、将棋ができる。
- ・カフェがある。コーヒー・カレーがうまい。交流の場になっている。
- ・ロケーションが良い

- ・飲食ができる。
- ・長時間いられる。
- ・駅から近い
- ・若宮大路に面している。

B班

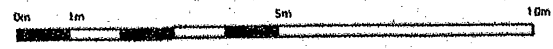
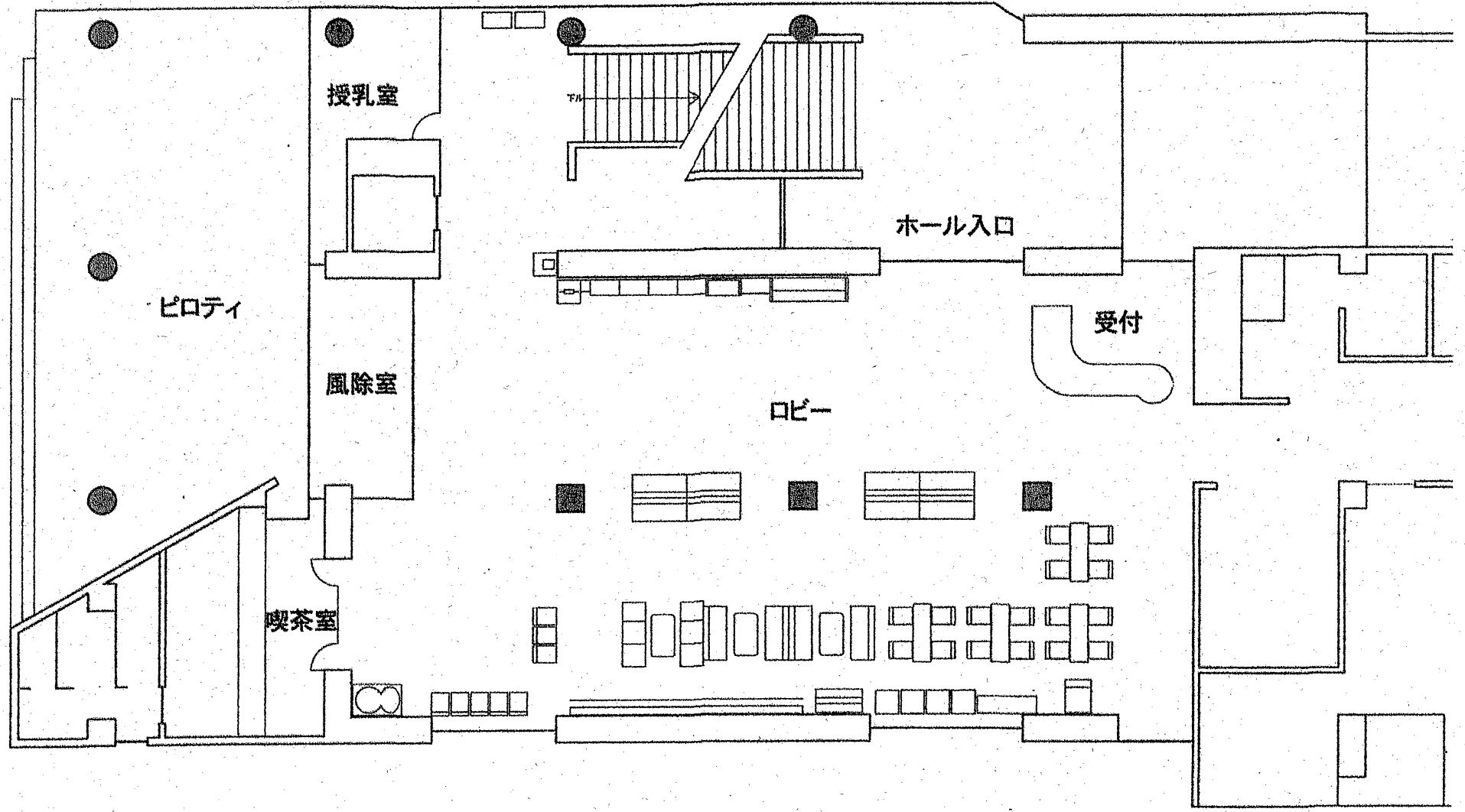
- ・床クリーム色。ビーターイル。
- ・照明明るく
- ・玄関入力の利用。カフェスペースにしてオープンカフェに。
- ・TVを生涯学習の活動PRに使う。(サークルの募集等)
- ・TVをかえてほしい
- ・テーブル、イスを軽く、移動しやすくする。
- ・カフェのスペースを広く
- ・さらさらカフェをもっと広げてほしい
- ・待ち合わせや休憩するのに便利
- ・駅前でアクセスが良い、利点
- ・生涯学習専用の建物
- ・子ども食堂にしてほしい(夕方)
- ・自転車、バイクとめられない
- ・たまり場的になっている
- ・子育てサロン、授乳室のPRをもっと。
- ・作業スペースを作ってほしい。椅子、机を変える。改善点
- ・照明を明るくする
- ・ししの像を別の場所へ移動する。
- ・囲碁の場所を固定する。

C班

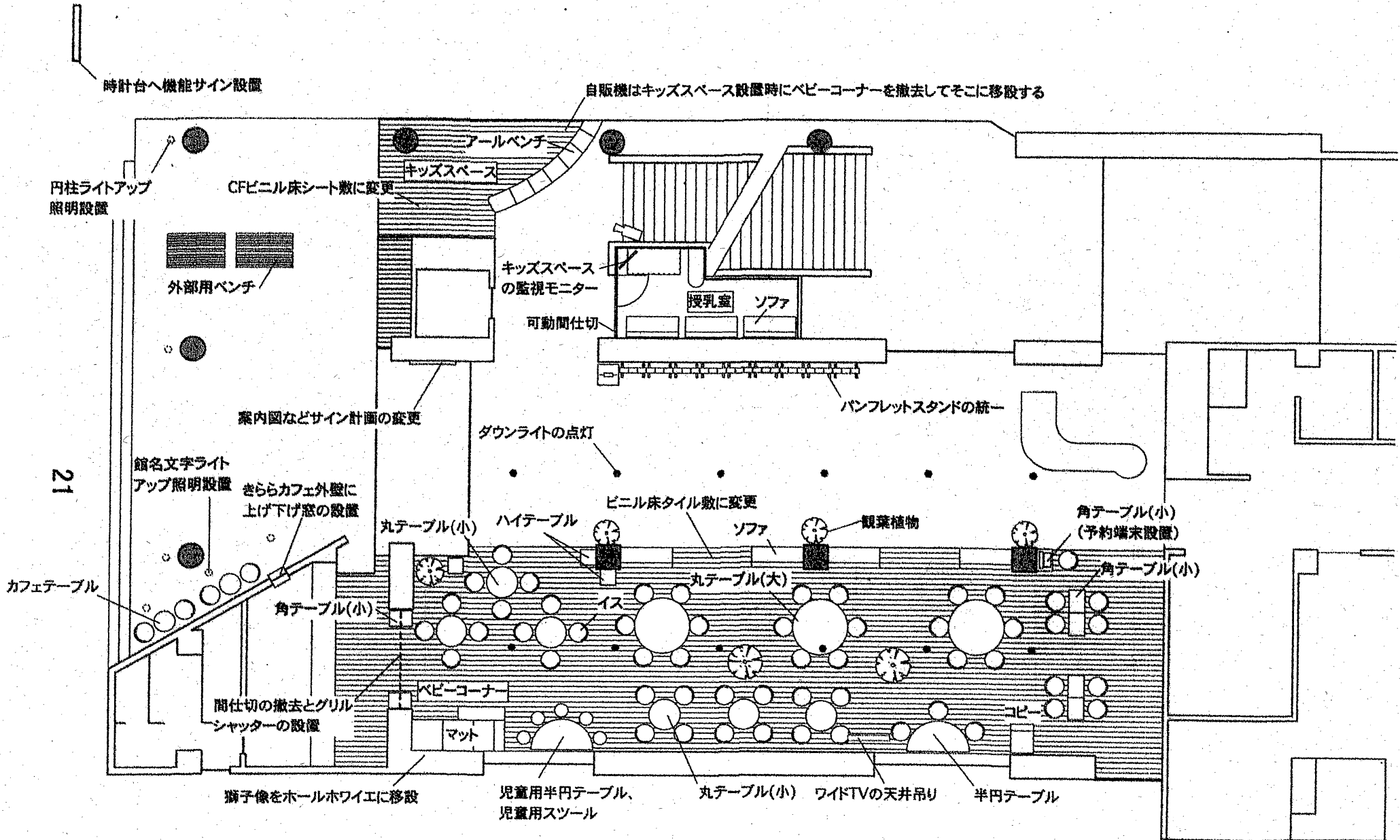
- ・食堂は弁当を食べられるベンチが少ない
- ・小丸テーブルは一人座るとダメ⇒角テーブル⇒楕円のテーブルが良いか
- ・ロビーでカフェの飲食ができることをアピールする
- ・駅に近いところ。便利。良
- ・入口が入りづらい。中が見えない。裏返して開放的に。悪
- ・音が使えることがわからない
- ・アピールがない

- ・サービスの宣伝が足りない
- ・ビロティが暗い。人をよせつけない。
- ・授乳室のアナウンスがない。知られていない。広報紙で宣伝する。 悪
- ・ビロティにベンチがあると良い
- ・外向きに中の機能がわかるサインがない。
- ・トイレにサインを
- ・授乳室の裏のガラス、中が見えない。
- ・壁の色がグレー。地味。
- ・床の明るさ、色。
- ・自由に使えるフリースペースにする。
- ・最近若い人（学生）が増えてきている
- ・弁当を食べたい。
- ・勉強したい
- ・ソファの数が多すぎる。⇒丸テーブルを増やした方がいろいろ使える。 悪
- ・囲碁をやっている。雑倉らしい。
- ・ソファ、くつろぐだけ。他のことがしづらい。 悪

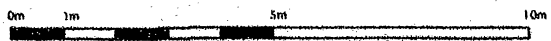
20



鎌倉生涯学習センターロビー(現況図)



21



22

番号	項目	仕様	サイズ	単価(税別定価)	数量	金額	メーカー	品番	備考
1	丸テーブル(大)	天板:メラミン(木目)、脚:スチール塗装	φ1600×720H	179,000	3	537,000	オカムラ	83WFAB-MLMK38	リブデスククロスメディア
2	丸テーブル(小)	天板:メラミン(木目)、脚:スチール塗装	φ900×700H	76,600	6	459,600	オカムラ	MS52AA-MK37	アルトカフェシリーズ
3	角テーブル(小)	天板:メラミン(木目)、脚:スチール塗装	850W×450D×720H	42,600	7	298,200	オカムラ	90D6SH-MK51	エルテーブルシリーズ
4	半円児童用テーブル	天板:木製成材、脚:木	1788W×800D×580H	200,300	2	400,600	オカムラ	LWT2HE-W716	児童用児童テーブル
5	半円テーブル	天板:メラミン(木目)、脚:スチールメラミン	1800W×900D×680~730H	157,200	1	157,200	オカムラ	LD80CX-MR47	医療ダイニングシリーズ
6	スツール児童用	木製、座面:再生布(エメラルドグリーン)	φ406×360SH	19,000	5	95,000	オカムラ	LW10DZ-FL82	児童用スツール
7	キッズスペースアールベンチ	座面:合板(木目)、背なし	2000W×734D×400H	293,800	2	587,600	オカムラ	LB03HR-W407	アズビナシリーズ
8	ハイテーブル	天板:メラミン(木目)、脚:スチール	450W×450D×1050H	89,900	2	179,800	オカムラ	MS52BH-MK38	アルトカフェシリーズ
9	ベビーコーナーフロアユニット	ウレタンマットビニルレザー張(モスグリーン)	900W×900D×50H	38,000	2	76,000	オカムラ	LBKFMZ-PC08	チャイルドブレイスシリーズ
10	ベビーコーナーベンチユニット	ウレタンマットビニルレザー張(イエローベージュ)	900W×800D×300H	70,200	1	70,200	オカムラ	LBKHAZ-PC16	チャイルドブレイスシリーズ
11	ベビーコーナードッグベンチ	ウレタンマットビニルレザー張(イエローベージュ)	1345W×400D×310SH×530H	93,900	1	93,900	オカムラ	LBKD3Z-PC08	チャイルドブレイスシリーズ
12	ソファ3人掛け、ロビー、授乳室	布張(モスグリーン)、脚:木製	1500W×600D×425SH,710H	109,500	7	766,500	オカムラ	LB55ZC-FMV1	LB55
13	ピロティ用ベンチ	座面:木、脚:アルミ	1600W×592D×400SH,765H	196,700	4	786,800	オカムラ	E413ZB-W589	ストリートファニチャー
14	パンフレットスタンド	アルミパイプ、樹脂トレイ、A4判3列30スポット	761W×400D×1500H	92,200	9	829,800	オカムラ	L959XC-Z837	オフィスアクセサリー
15	カフェテーブル	天板:メラミン(木目)、脚:スチール塗装	φ600×700H	64,900	2	129,800	オカムラ	MS52AC-MK37	アルトカフェシリーズ
16	椅子	木製	420W×519D×800H×410SH	66,000	58	3,828,000	天童木工	T-3221WB-NT	
17	観葉植物				6				レンタル
18	授乳室可動間仕切	アルミフレーム、スチールパネル			一式		オカムラ		ワークウォール510シリーズ
19	ビニル床タイルに交換	フローリング風ビニルタイル	厚さ3mm×150×914.4	3,900	140	546,000	田島ルーフク	648-805	ウッドクラフトシリーズHサイズ
20	OPビニル床シートに交換	弾力性あり厚尺ビニル床シート/RC柱、RC壁は隠蔽設置	厚さ6mm×1820	7,700	17	130,900	田島ルーフク	5218M-60	AGフロアEM木目(アガチス)
21	ワイドTVの天井吊り	床置きTVを天井吊りに変更する工事			一式				
22	カフェの間仕切り撤去	アルミ間仕切りの欄干より下を撤去			一式				
23	グリルシャッター	カフェの間仕切りを撤去した後にグリルシャッター設置	2900W×3000H		一式				
24	きららカフェ外壁上げ下げ板	外壁に開口し、アルミサッシ、窓台カウンターを設置	500W×1200H、FL+900		一式				
25	ダウンライトの点灯	既存照明の活用			一式				
26	外部用スポットライト	館名および柱のライトアップ用スポットライトの設置			6				
27	監視カメラ&モニター	キッズスペースの保安用			1				
28	椅子座、股面絵圖の移設	ホールホワイエ、地下ギャラリーホワイエに移動する			一式				
29	看板標の移設	キッズスペース設置時に現椅子座位置に移動			一式				
30	サイン計画	サインのリニューアル工事			一式				

家具リスト1

Furniture

001	簡易平スクエアテーブルタイプ	数量	3台
製品番号	33HFA8 ML88		
価格	¥178,000		
サイズ	1800W1600D730H		
カタログ頁	カルチャー総合カタログV617 P136		

002	アルトカフェ テーブルφ000	数量	6台
製品番号	MSS2AA MK37		
価格	¥76,000		
サイズ	—		
カタログ頁	2015-2016年寸カムラカタログP408		

003	L-table4木脚調器器台L	数量	7台
製品番号	B00E3H MK37		
価格	¥48,000		
サイズ	781W450D730H		
カタログ頁	カルチャー総合カタログV617 P114		

004	短冊脚鏡面円テーブル1787×900	数量	2台
製品番号	LWTC16 W716		
価格	¥400,000		
サイズ	1787W900D840H		
カタログ頁	カルチャー総合カタログV617 P148		

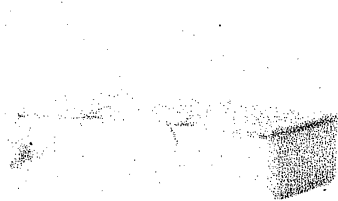
005	テーブル円形脚 木脚カバー付脚	数量	1台
製品番号	LAD80X MR47		
価格	¥157,200		
サイズ	1800W900D680-730H		
カタログ頁	ヘルスケア総合カタログV617 P336		

006	短冊脚鏡面スクエア	数量	5台
製品番号	LW1602 F162		
価格	¥18,000		
サイズ	450W400D380SH		
カタログ頁	カルチャー総合カタログV617 P148		

※価格は税別です。消費税を別途納めます。サイズの単位はmmです。イメージ写真・CG画像及びカラーサンプルは実際のものと相違する場合があります。(一部、CG画像を使用しているものがあります。)
 ※材質は、天然木材のホルムアルデヒド放散量が、0.005mg/h以下、平均値(F☆☆☆☆基準)の材料を使用している製品です。在庫状況に合わせ、販売切り替えてまいります。

家具リスト2

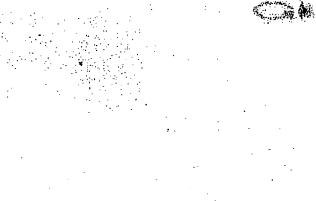
Furniture



007 アスビナ 円テーブル
 製品番号 L8KH1R W407
 価格 ¥99,800 数量 2台
 サイズ 800W×400D×400H
 カタログ頁 2015-2016年オカムラカタログ P497



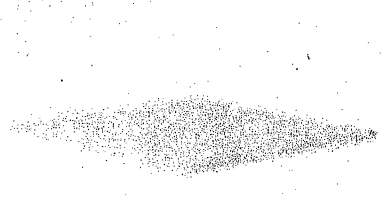
007



008 アルトカフェ テーブル□480
 製品番号 MS32BH MK38
 価格 ¥89,800 数量 1台
 サイズ —
 カタログ頁 2015-2016年オカムラカタログ P408



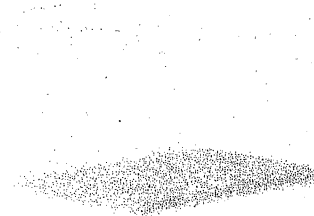
008



009 フロアユニット800角
 製品番号 L8KH2 P098
 価格 ¥38,800 数量 2枚
 サイズ 800W×800D×40H
 カタログ頁 カルチャー館食器カタログ Vol.7 P108



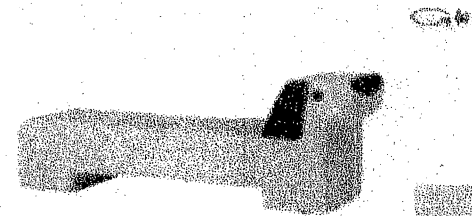
009



010 ペンデュムセット直脚800
 製品番号 L8NHA2 P018
 価格 ¥76,800 数量 1台
 サイズ 800W×800D×800H
 カタログ頁 エキスパート家具カタログ Vol.7 P218



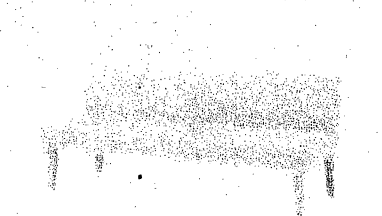
010



011 ドッグベンチ 子供用
 製品番号 L8KD3Z PC04
 価格 ¥93,900 数量 1台
 サイズ 1345W×600D×105H×500H
 カタログ頁 エデュケーション館食器カタログ Vol.7 P215



011



012 L8888 背付テーブル 1580W
 製品番号 L8888Z PMV1
 価格 ¥108,800 数量 7台
 サイズ 1580W×600D×800H×710H
 カタログ頁 2015-2016年オカムラカタログ P434

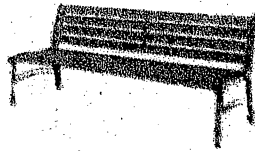


012

※掲載は概算を掲載です。消費税別価格です。サイズ等はmm単位です。イメージ写真・CG画像及びカラーサンプルは実際のものとは異なる場合があります。(一部、CG画像を参照しているものがあります。)
 ※重量は標準的な素材を使用した場合の値です。0.005kg/cm以下：平均値(円柱・六角基準)の材料を使用している製品です。在庫状況に合わせ、順次切り替えをいたします。

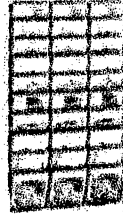
家具リスト3

Furniture



013

013	ストリートファニチャー 背付ベンチ	
製品番号	E413216 W688	
価格	¥198,180	数量 4台
サイズ	1800W590D400H1780H	
カタログ頁	丸椅子・ベンチ・椅子のカタログ Vol.1 P.346	



014

014	LD50X/レフレットスタンド3列	
製品番号	L599XC Z637	
価格	¥82,200	数量 3台
サイズ	761W400D1600H	
カタログ頁	2015-2016年オカムラカタログ: P.635	



015	アルトカブユ チェア6800	
製品番号	M553AG MK37	
価格	¥64,800	数量 2台
サイズ	---	
カタログ頁	2015-2016年オカムラカタログ: P.408	

25

※価格は税別価格です。消費税別価格です。サイズの単位はmmです。イメージ写真・CG画像及びカラーサンプルは実際のものと相違する場合があります。(一部、CG画像を使用している場合があります。)
 ※製品の重量は、素材のホルムアルデヒド放散量が、0.005mg/m³以下(平均値(F☆☆☆☆基準))の材料を使用している製品です。在庫状況に合わせ、販売終了致す場合があります。

開催日時	会議名			開催場所
28年5月16日(月)	鎌倉生涯学習センターロビー活用検討委員会第1回会議			きらら鎌倉
9:30～11:30				セミナールーム
主催	ロビー活用検討委員会		会議の種類	
司会	宇治	書記	西畑	時計係
必読資料	まちのいろは(書籍)、鎌倉の地元遺産(書籍)			
必携資料	生涯学習センターロビーの活用についてメモ(西畑提供)			
出席者	宇治、熊倉、小久保、竹沢、朴沢、押山、青木、渡邊、阿部、西畑 欠席者：浅野(敬称略)			
議 題				
◆宇治委員長が、改めて自己紹介を行い、市が提示したロビー活用のビジョンと現状の課題について確認を行った。本日は初回ということもあり、特に議題を設定せず、各委員がロビーに対して考えていること、日頃の感想や意見などを自由に発言するところから始めた。				

経過(発言者と内容)
<p>西畑：コミュニティカフェは、長寿社会文化協会によって、地域社会の居場所、溜り場、縁側と定義されている。空間設計の各論に入る前に、この場でどのようなコミュニティを作ろうとするのか、コミュニティデザインの議論を深めておきたい。また、鎌倉は他の街と比べても居場所の多い街と認識している。新しい居場所があえてこの場に必要なのか、既存の場所を繋ぐことでその代替とならないかもチェックしておきたい。人が集まることで場の活性化を図る方法はいろいろ考えられるが、この場に折角あるモノは使い切る方向で検討してみたい。ロビーの唐獅子や壁画の由来も知っておきたい。</p> <p>小久保：建物として様々な制約や規制はあるが、利用しやすい雰囲気づくりのために出来ることがあると考える。例えば、照明を明るくする、壁の色を変える、備品の配置を変える、来場者の動線を変えることで改善する。ロビーの賑わい作りとしては、子供だけを対象とすることは難しいので、親子で体験できる参加型のイベントを行うとよい。</p>

渡邊：高齢者に講師になってもらい、中高生を対象にした囲碁・将棋教室を開いてはどうか。きららカフェに子供用の椅子があると親子でも利用しやすい。カフェメニューとして乳児向けのものがあったり、授乳室へのお湯の提供や電子レンジの温めサービスがあると、ロビー全体の利用も増える。

宇治：授乳室の存在自体があまり知られていないのではないかと設備とか機能の表示をもっと打ち出したら、利用者は増えると思う。

熊倉：ロビーの雰囲気「暗い」というよりは「硬い」のではないかと。80年代に流行した内装素材が多用されており、全体的に硬質な空間。また、夜の受付の警備員の視線も羽目を外せない固苦しさを醸し出している。

熊倉：「柔らかい」感じの空間にするためには色や素材を変えると効果的。例えば、逗子文化プラザのロビーは明るい木目調。でも、コストはかかる。

小久保：チラシ置場の位置や壁展示の仕方によって自然に人が回遊できるような動線がつかれないものだろうか。

熊倉：始めに目指す空間イメージをこのメンバーで共有しておいたほうが良い。ロビーは、人を集めるための空間ではなくて、人がホッとするための空間なのではないか。

例えて言えば、駅前東急ストアの今はなきエスカレーター横のベンチのような場所とか。また、ロビーに植栽を入れると雰囲気が変わる。手入れはボランティアにお願いして。

熊倉：授乳室が建物の顔となる場所にあり、一番良いスペースの利用者が制限され、閉じられているのはもったいない。

渡邊：ロビーで物々交換市を開いてはどうか。逗子の文化プラザのエコ広場のような。

宇治：市は賑わいにはなるが、モノを放置しておくとも乱雑になる可能性がある。

押山：木曜日は福祉団体が、第2、4日曜日は東北物産展がピロティで物販を行っているが、一般には貸出しをしていない。

宇治：普段、ピロティに人が見えず、建物の外観からして入りにくい。わくわく感が感じられない。特に夜は営業しているのかどうかさえわかりにくい。さらにロビーは病院の待合室のような雰囲気。「ロビーだからビニールレザーの長椅子で決まりでしょ」みたいな感じがある。いっそのことロビーという名前自体変えたらどうか。長椅子ではちょっとした打ち合わせもしにくい。

竹沢：落ち着ける空間ということであれば、ホテルのロビーのイメージだが、そのように空間を作りこむのは予算的にも難しい。また、綺麗にすることでかえって既存の

利用者が使いづらくなるかもしれない。
押山：時間帯によってロビー利用者のバラつきがある。利用状況の正確なデータはない。
渡邊：きららカフェ店主の阿部さんが終日ロビーを見ており、日常的な利用状況について詳しいので、ヒアリングをしてみてもどうか。
熊倉：この施設に自転車の置き場がないのは来館者にとって非常に不便。
宇治：時間もないので、アンケートの対象と目的について考えをまとめたい。
1. 普段、生涯学習センターを使っている人を対象に、どうすればロビーが利用し易くなるのか意見を求める
2. 普段、生涯学習センターを使っていない人を対象に、どうしたらセンターに来るようになるのか意見を求める（一般市民のニーズを把握する）
この2通りで良いか。
渡邊：1については、6月に生涯学習センターフェスティバルがあるので、そこでアンケートを実施してはどうか。
小久保：2については、具体的な実施方法が思いつかない。難しいのではないか。
押山：一般市民を対象にした生涯学習センター全体に関するアンケートであれば、過去のデータがある。これから作るアンケート項目の参考になるかもしれない。
熊倉：ワークショップは、どのようなイメージで行うのか？集客のためではない？
宇治：イベント型のワークショップではなく、ワールドカフェのような課題解決型のワークショップを実施したい。実施の時期は、アンケート後に。コンセプトは、熊倉さんにお任せしたい。参加者の募集については、小久保さん、竹沢さんの協力を得たい。

結 論			
■フェスティバルでアンケートの実施が可能かどうかは竹沢さんが確認し、実施する			
■センターに関する過去のアンケートのデータは、次回までに押山さんが用意する。			
■アンケート後に行うワークショップのコンセプト案は、熊倉さんが担当・提案する。			
■次回会議は、6月13日の9:30～逗子文化プラザ市民交流センターのロビーで行う。			
次回開催日 (予定)	次回開催場所 (予定)	議事録作成日	議事録作成者
6月13日	逗子文化プラザ	28年5月24日 (火)	西畑

開催日時	会 議 名			開催場所
28年6月13日(月)	鎌倉生涯学習センターロビー活用検討 委員会第2回会議			逗子市民交流センター
9:30～11:00				市民活動スペース
主 催	ロビー活用検討委員会		会議の種類	
司 会	宇治	書 記	西畑	時 計 係
必 読 資 料	鎌倉市公共施設再編計画策定に向けたアンケート調査結果について			
必 携 資 料	なし			
出 席 者	宇治、熊倉、小久保、竹沢、朴沢、押山、青木、渡邊、阿部、西畑 欠席者：浅野 (敬称略)			
議 題				
◆平成24年の上記アンケート調査結果を確認した上で今年度実施予定のアンケート及びワークショップの方向性について検討した。また、会議終了後に逗子文化プラザ市民交流センターの小林副館長に施設の説明をしていただき、見学を行った。				

経過 (発言者と内容)
押山：平成24年のアンケート結果は資料の通り。一般市民に向けたものと施設利用者を対象としたものの2種(それぞれ母数は828人、3,982人)あり、一般市民では50%が生涯学習センターを利用したことがなく、利用者は70歳以上の高齢者が他施設に比べて多い。利用目的は会議・講習が約50%、そのうち定期利用が過半数を占める。
朴沢：お年寄りから若い人まで幅広く利用していただくことが理想。特定の方々にたむろしてもらっても困る。
押山：時間帯で言うとイベント開催日以外の夜の利用者がほとんどない現状である。
宇治：先回の会議で熊倉委員からロビー活用の方向性の確認があった。ロビーをどのようにしたいのかを委員の間でもう少し議論し、すり合わせておく必要があると思う。
宇治：アンケートについて具体的に詰めたいが、ロビーの利用に特化したものでよいか。
西畑：対象人数は何人位を想定しているか。また、どのように回収するか。
阿部：一般市民を対象にするなら500サンプル程度は必要か。きらら前で聞き取り調査をしてもよい。

宇治：回収方法は今後検討するとして、7～8月には実施したい。次回の会議でアンケートの内容を確定したいので、竹沢委員と相談して西畑委員にたたき台を作成してもらいたい。

渡邊：ワークショップは、どのように行うのか。

熊倉：ロビーの改善をテーマに20～30名くらいで。センターのロビーで実施してよいか。

押山：ロビーで行うことはできない。集会室を予約するのでそちらで実施してほしい。

西畑：ワークショップの参加者は公募とするのか。

熊倉：結果的にコネ頼みになるかもしれないが、「鎌倉萌」で参加公募をかける。

小久保：原稿の締め切りが2か月前だから、6月末までに原稿作成して8月号に掲載できる。

実施は最短でも8月末～9月になる。

結 論

■西畑がアンケート案を6月末までに作成、次回の会議までにたたき台を完成させる。

■ワークショップの内容は熊倉さんと押山さんとで6月末までに原案を作り、鎌倉萌の8月号で参加者を公募する。(原稿締め切り7月初旬)

■ワークショップは9月4日(日)14:00～16:00に実施する。会場は第5集会室。

次回開催日(予定)	次回開催場所(予定)	議事録作成日	議事録作成者
7月13日 9:30～	鎌倉生涯学習センター	28年6月30日(木)	西畑

開催日時	会議名			開催場所
28年7月13日(水) 9:30 ~12:00	録音生涯学習センターロビー活用検討 委員会第3回会議			生涯学習センター 事務室
主催	活用検討委員会		会議の種類	
司会	宇治	書記	浅野	時計係
必読資料	アンケート案(西畑作)、第2回議事録			
必携資料	なし			
出席者	宇治、熊倉、竹沢、朴沢、押山、青木、阿部、浅野 欠席者：西畑、渡邊 途中参加：小久保、(敬称略)			
議 題				
◆前回の議論を踏まえ、今年度実施予定のアンケート及びワークショップの詳細、及び実施方法について検討した。また、委員会要綱、会議の日当について最終確認を行った。				

経過 (発言者と内容)	
押山：	委員選考事務について。検討委員は運営会議が組織に依頼をし、その組織が代表者を選考するという形で選ばれる。よって、運営会議が改めて組織に推薦文を送ること。
押山：	委員会の費用として12万円出ているが、その使い道はどうするか。交通費+特別な経費が掛かる場合の費用と考えてよいか。
熊倉：	今回のワークショップの費用等が特別な経費と考えてよいか。
押山：	ワークショップの費用、印刷代、消耗品等と考えている。
アンケートについて	
押山：	実施方法はどのような方法があるか。例えば受付に置く。
宇治：	スタッフも積極的に配る。
阿部：	普段利用しない方には二人一組で手分けをして、学習センターの近くで配る。
熊倉：	立て看板を置いて、アンケートのスペースを作る。入口の柱のところ等。
押山：	センターとしては利用可能。
阿部：	施設外で配布するときは腕章等、分かりやすいものがあるとよい。
宇治：	モチベーションアップのため、ノルマを設定。次回集まるときまでに一組で50人には配る。

浅野：学習センターでの印刷は可能か。

押山：可能。学習センターで印刷し、配る際は事務所に声をかけて手に入れる。

※アンケートの各項目、ワークショップについては別紙参照

結 論

■西畑さん作成のアンケート案を本日の意見を取り入れて編集する。

■改めて正式な組織への委員推薦依頼文章を送る。

■委員会要綱を作成し押山さんと運営会議とで最終確認をする。

■ワークショップは9月4日(日)14:00~16:00に実施する。会場は第5集会室。

次回開催日(予定)	次回開催場所(予定)	議事録作成日	議事録作成者
8月10日(水)9:30~	鎌倉生涯学習センター	28年7月22日(金)	浅野

開催日時	会 議 名			開催場所
28年8月10日(水)	鎌倉生涯学習センターロビー活用検討 委員会第4回会議			きらら鎌倉
9:30～10:30				セミナールーム
主 催	ロビー活用検討委員会		会議の種類	
司 会	宇治	書 記	浅野	時 計 係
必 読 資 料	アンケート用紙、ワークショップマニュアル			
必 携 資 料	なし			
出 席 者	宇治、熊倉、小久保、竹沢、朴沢、押山、青木、渡邊、阿部、浅野 欠席者：西畑(敬称略)			
議 題				
◆アンケート用紙の内容を最終確認する。				
◆ワークショップの準備事項の確認をする。				

経 過 (発 言 者 と 内 容)
・質問項目は原案通り。アンケートの文字を大きくする。
・対面式でアンケートを行い、その場で回収する。生涯学習センターの受付にも置く。
・ワークショップの募集は、市のホームページ、生涯学習センター受付で行う。
・ワークショップの進行は熊倉委員が行う。
・各班のファシリテーターは、阿部委員、渡邊委員、西畑委員が行う。
・必要な事務用品をリストアップして、手配する。

結 論			
■アンケートは8月15日～25日の間に行う。実施時には名札を着用のこと。			
■アンケートの印刷は鎌倉生涯学習センターで行う。			
■ワークショップは9月4日(日)14:00～16:00に実施する。会場は第5集会室。			
■前日の9月3日にワークショップで使用する資料の準備を行う。			
次回開催日(予定)	次回開催場所(予定)	議事録作成日	議事録作成者
9月26日 18:00～	ソンベカフェ	28年8月10日(水)	浅野

開催日時	会 議 名			開催場所
28年9月26日(月)	鎌倉生涯学習センターロビー活用検討 委員会第5回会議			ソンベカフェ
18:00 ~18:30				
主 催	ロビー活用検討委員会		会議の種類	
司 会	宇治	書 記	西畑	時 計 係
必 読 資 料	ロビー活用委員会ワークショップのまとめ			
必 携 資 料	なし			
出 席 者	宇治、熊倉、小久保、竹沢、朴沢、押山、青木、渡邊、阿部、西畑 浅野 (敬称略)			
議 題				
◆ワークショップの報告				

経過 (発言者と内容)
9月4日に実施したワークショップについて以下の観点から全員で共有化を行った。
・前日までの準備
・当日の進行
・ファシリテーターの対応
・参加者の反応
・反省点

結 論			
■アンケートの結果を各委員に連絡するので内容を確認する。			
■ファシリテーターの委員は担当した班の成果をまとめて報告する。			
次回開催日 (予定)	次回開催場所 (予定)	議事録作成日	議事録作成者
10月24日 15:00~	鎌倉生涯学習センター	28年9月27日(火)	西畑

第6回 鎌倉生涯学習センターロビー活用検討委員会ミーティング 議事録

日時：平成28年10月24日（月）15:00～16:30

会場：鎌倉生涯学習センター サークル室

出席者：宇治、熊倉、小久保、竹沢、朴澤、押山、青木、渡邊、西畑、浅野

議事録作成：浅野

○振り返り

一連の打ち合わせ、アンケート、イベントを通してロビーの基本方針は「多世代が集まる」というところに落ち着いてきた。

○報告書・提案書について

最終的に報告書を市に提出する。フォーマットは特になし。

・報告書のイメージ

図面があって見積もりが取れるほどのものはいらない。

意見を狭めず、あくまでも「提案」として提出する。

報告書のイメージは

基本方針⇒現状・問題点⇒解決策⇒提案

という形で提出する。

○基本方針について

基本方針は以下の三つとした。

・コミュニティカフェ（地域の人の居場所）としてのスペース

・様々な世代の人の交流の場となるスペース

・学び、伝え、繋がり、拡がる場所

上記の文章を懸念事項に注意して各自練り、最終的に決定する。

・懸念事項

「コミュニティカフェ」には様々な定義がある。ここでは一例として「地域の人の居場所」を挙げたが、生涯学習センターロビーの活用に対応しい言葉を要検討。

ここでいう「コミュニティカフェ」の定義を「*」などで記載する。

・参考

「教育」から「学習」という言葉に代わった理由

「学習」は一方向的に伝えるものではなく、自らが学びたいものを学ぶこと。

高度なレベルの議論をするだけのところではなく、自由にレベルに関係なく学べる場所

○問題点・改善策について

具体案は下記に記す。

・受付の位置の変更（改善）

例）本来の受付の位置を変更するのは難しいが、きららを案内所、相談所として扱う

- ・床材、照明の工夫
- ・丸テーブルの導入
- ・子供用スペースの整備
- ・きららカフェの機能を活かす

例）学習、活動をしている団体を紹介する場所として活用

- ・ピロティの有効活用について
- ・掲示スペースの改善
- ・トイレや授乳室等の表示の改善
- ・設置物のレイアウト（獅子、絵画等）
- ・囲碁、将棋スペースの検討
- ・夜間の活用について

○次回ミーティング予定日

11月21日（月）13:00～ 生涯学習センターミーティングルーム

以上

第7回 鎌倉生涯学習センターロビー活用検討委員会ミーティング 議事録

日時：平成28年11月21日

会場：鎌倉生涯学習センター サークル室

出席者：宇治、熊倉、小久保、朴澤、青木、押山、阿部、渡邊、西畑、浅野

議事録作成：浅野

配布資料：第5回ミーティング議事録、アンケートまとめ、報告書の組み立てイメージ

◆前回の課題について

前回の議論で出た「問題点・改善策」を具体化し、文章を作成することが今回までの課題として出されていたが、提出がされなかった。

そのため、改めてロビー内を実際に確認しながら具体案を出していくことに。

◆ロビーを実際に見て出た意見

○ピロティ

・入口右側の余分な壁を削る、窓を開ける等の工程を行いスペースを有効活用できるようにする。

・暗いので照明をもっと明るいものにする。

・「生涯学習センター」の文字のところにライトを当てる。

・太陽光等、自然エネルギーを使った照明に変更する。

・授乳室の看板が見えづらい。

・パネル（ガラス面）の中身を検討する。（例）時期によってポスターを変える。

・「鎌倉生涯学習センター」という表示を二階の窓に大きく貼る

・時計台の下に何が使えるか、どんな機能があるかのアイコン等の表示をする。（品の良いコンビニ方式）

・柱にライトが当たるようにする。

・コンクリートむき出しの柱が無機質。例えば色を塗る等の工夫をする。

・スロープに微妙な段差がある。本当は正面にスロープを作るべき。

・椅子やベンチを置けるとよい。

○入口付近

・掲示物をセロテープで貼るのを禁止。

・サイン計画を統一して、分かりやすくする。

○掲示物・チラシ

・什器（スタンド、ラック）の種類がバラバラ。掲示場所も3か所に分かれているため、

統一感を出す。

・囲碁の後ろの掲示スペースは避難経路確保のため、壁に貼ることしかできない。ラックを置くことは不可能。

・テレビの側に什器を置く。

・市民ギャラリーの階段下に獅子を置く、絵も飾る

⇒獅子は全体が見えるようにしたい。ホワイエに置くのはどうか。

⇒絵もじっくり鑑賞できるようにしたい。ギャラリーの壁はどうか。

・絵のスペースを交代制にして、絵画サークル等の発表の場にする。

・照明器具について。白色でクールなので、暖色系を加えてあたたかい雰囲気になりたい。

既存のものは変更できないが、増設するのは可能か。

⇒増設は可能。

ダウンライトはあるが下まで光が届かない。LEDに変えたらどうなるかは、実際に変えてみないとわからない。

ダウンライトは契約をしていないので、変更は可能。

◆上記の意見を踏まえ、問題点・改善策の具体例を挙げ肉付けした（記載済みの情報は除く）

○受付の位置の変更

・きららカフェを案内所、相談所としてうまく使っていく

・きららカフェと外の空間（隙間）をうまく使えると外からの受付窓口ができる。

壁を1mぐらいカットして窓を開ける等の工夫が必要。

・きららカフェの受付を高くする。背が高い椅子に変える。

○床材、照明の工夫

・照明については上記記述済。

・床材を今のものをはがして、明るいものに張り替える。

○丸テーブルの導入

・ワークショップの図面をもとに、避難経路を確保したものを案として提出する。

熊倉さんが担当。

○設置物のレイアウト

・テレビの位置を変える。

○囲碁将棋の利用の仕方について提案がほしい

・ルールを作り、他の利用者と共存できるようにする。

○夜間の活用について

- ・きららカフェを学習支援、子供たちの食堂として夜間にも営業時間を延長。
 - ・食堂の衛生法、保健所の基準を確認。⇒宇治さん担当。
 - ・勉強するスペースとしての活用であれば、PCが使えるように電源があるとよい。
- ⇒公共施設のコンセントサービスは不可。
- ・蛍光灯をすべて消して、テーブルライトにする。
- ⇒暗くなるため危険が増える。安全面の確保が第一。

○キッズスペースについて

- ・授乳スペースの広さはどのぐらいあるべきか。
- ⇒今の広さだと2, 3組の利用が限界。
- ・外から見たときに開放感があり、授乳をしている親から子どもたちを引き離さないようにするのが理想。
- ⇒授乳スペースとキッズスペースを隣同士にし、近づける。また、子どもが遊ぶスペースを外から見えるようにすれば開放感があり、外から見たときにも目を引くので看板になるのでは。
- ・既存の授乳室を囲碁等の部屋にし、きららカフェ近くに授乳室とキッズスペースを設置する。きららカフェを利用しているときに、少し子供たちが遊べるスペースがあると、そこでコミュニケーションも生まれるのでよいのでは。

◆次回打ち合わせ日程

12月20日(火) 午前10:00～ サークル室

欠席：小久保さん

◆担当

○図面作成

熊倉さん

○たたき台のまとめ

宇治さん、西畑さん、浅野

12月中にまとめて、1月に提出を予定する。

以上

第8回 鎌倉生涯学習センターロビー活用検討委員会ミーティング 議事録

日時：平成28年12月20日（火）10：00～12：00

会場：鎌倉生涯学習センター サークル室

出席者：宇治、熊倉、竹沢、朴澤、青木、押山、阿部、西畑

欠席者：浅野、小久保、渡邊

議事録作成：西畑

配布資料：ロビーのコンセプトと提案（改善策）、クラウドファンディングについて、
ロビー現状写真のコピー、ロビー平面図

◆本日の議題

1. ロビー基本コンセプトの確認
2. ロビーの家具・什器について
3. キッズスペースと授乳室について
4. 資金の調達について

前回までに議論を重ねた具体的な提案やこれまでのアンケート、ワークショップなどでの提案も含めてまとめた「ロビーのコンセプトと提案」（配布資料）を検討した。特に前回結論の出なかったキッズスペースと授乳室のこと、これまで議論してこなかった資金調達（予算の概算）のことについて時間を割いた。資料の提案全てを検討する時間がなかったため、検討できなかった提案については次回までに各自が意見を提出し、それをまとめたものを報告書として確認することとした。

◆検討内容（■は決定事項）

1. ロビー基本コンセプトの確認

■一部文章に修正を加え、配布資料のロビーの基本コンセプトを了承する。

修正箇所は以下の通り。

「コミュニティ・カフェになる、すなわち幅広い世代の市民…の居場所」を

「コミュニティ・カフェの機能を持った幅広い世代の市民…の居場所」に修正。

「生涯「学習」が、本人の気づき…」を

「生涯学習は、「教育」と違い本人の気づき…」に修正。

2. ロビーの家具・什器について

■一部文章に修正を加える。修正箇所は以下の通り。

「多様な使い方に対応できるワーキングスペース」を

「多様な使い方に対応できるワーキングスペース」に修正。

・柱を取り囲む机と椅子を設置すると、避難路の幅員が現状より減少する。違法ではないが、減らす理由を明確に説明できるようにしておきたい。消防との話し合いが必要。

・椅子では落ち着かないので、柱を背にしたソファで囲むのはどうか。

■椅子をなくし、机の代わりに図面より一回り小さい径のハイカウンターで柱を囲む。
(市役所や銀行の記帳台のように立って利用できる場所にする。)

- ワイドTVの天井吊りはスペースの有効利用の観点から提案として残す。但し、変更にあたっては、設置者との協議が必要な旨の注意書きを入れる。
- 囲碁・将棋（に主として使われそうな）机は長机ではなく、幅 90 c m程度の二人用の四角い小テーブルとする。
- 壁面スタンドの統一を図り、チラシの平置き机は止める。これにより避難路の幅員確保にも繋がる。また、パブリックコメントを書くための机の設置場所を再検討する。その機能は前述のハイカウンターの機能として継承することも可能か。
- ・ロビーの総着席数は、現状 71 名であるが、新規の提案では 68 名で大きな変更はない。

3. キッズスペースと授乳室について

- ・平面図では、地下からの避難路の幅員を確保しつつ、開放的なキッズスペースとそこに近接する授乳室を配置した。
- ・自動販売機やロッカーの移動を伴う提案は、すぐに実現することが難しい。自販機は契約が 3 年残っており、ロッカーは移転場所の確保等の課題がある。
- 3 年後を目指して、段階的に図面の提案を実現できるようにする。
- 当面は、キッズスペースを含む授乳室を現状のまま維持し、キッズスペースの代替処置として、さららカフェに近い丸机を子供用に高さを抑えた丸机と椅子にする。

4. 資金の調達について

- ・今後、公共施設の再編も検討される状況にあって、予算規模の大きい複数年度に渡る重点事業は認知されにくい。市からの資金は、単年度予算にならざるを得ない。
- ・クラウドファンディングを行うにしても予算額の提示が必要。
- ・提案のレベル分けの根拠が欲しい。取り組みの優先順位やコスト配分を検討するためにも個々の提案の実現に必要な概算金額を把握したい。
- 個々の提案内容の概算見積りがとれるように、熊倉が主な家具・床材・照明器具等の仕様を既存のカタログレベルで決める。報告のためのデザイン業務は行わない。
- 上記の仕様に基づき、生涯学習センターが、提案実現に必要な金額を試算する。
- 報告は、資金調達の見込みではなく、寄附・募金等の調達方法の提案までとする。

◆次回打ち合わせ日程

平成 29 年 1 月 24 日（火） 13 : 00 ~ 17 : 00 鎌倉市生涯学習センター サークル室
 ※通常より時間を延長して、報告書をまとめる作業を行いますので、ご承知置きください。

◆次回までに

- ①本日の資料内の個々の提案に関する意見があれば、NPOセンター宛にメールまたは FAX で 12 月中にお知らせください。⇒全員の方対象です。
- ②年明けから、個々の提案の概算見積もりがとれるように、主な家具、床材、照明器具の仕様を生涯学習センター宛に提示してください。⇒熊倉さん
- ③次回会議の事前資料として、①をまとめたものを 1 月 17 日までに全員に送付します。
⇒西畑

以上

第9回 鎌倉生涯学習センターロビー活用検討委員会ミーティング 議事録

日時：平成 29 年 1 月 24 日（火）13：00～16：00

会場：鎌倉生涯学習センター 第3集会室

出席者：宇治、熊倉、竹沢、朴澤、押山、渡邊、阿部、浅野、西畑

欠席者：青木、小久保

議事録作成：西畑

配布資料：ロビーのコンセプトと提案（改善策）、仕様書、ロビー平面図、家具の仕様を確認するためのカタログの写し

◆本日の議題

ロビーの提案の確認（先回の続き）

「ロビーのコンセプトと提案」（配布資料）で、前回時間切れで検討できなかった提案をあらためて確認、追加した。また、報告書の作成にあたって章毎に担当分けを行い、文章作成負担の軽減を図った。

◆検討内容（■は決定事項）

ロビーの家具・什器について

■熊倉委員から家具の仕様と平面図の説明があり、資料に沿って確認を行った。大きな変更点はなかったが、囲碁や将棋のテーブルは、650×450の角型とした。

ロビーの床材、照明について

■提案の通り。

ポスター・チラシなど掲示物について

■提案の通り。

サイン計画について

■表示する場所、位置、大きさの統一などに配慮したサイン計画とする。

■報告書には参考になる写真事例を添付するとよい（最近できた大船中学校の事例はどうか）。

美術品の展示について

■~~空いたスペースはミニ展覧会を行うなどコミュニティ・カフェとしての有効活用ができる。~~⇒空いたスペースは有効活用する、に変更。

受付について

■~~以下を削除する。端末からのネットアクセスは必要性も含めて今後の課題。なお、外国人観光客向けにWi-Fiの使用も可能だが、積極的なPRはしていない。~~

■LB1を全文削除。代わりに、「受付の位置を分かり易くするために、入口付近から見易い位置にサインを表示する。」を追加。

■LB2は既に行っていることなので全文削除。その代わりに、「予約関連専用端末のうち1台を受付に近い角テーブル上に移設する。」を追加。

キッズスペースおよび授乳室について

- 提案の通り。

きららカフェの機能拡充について

- LB1として、「直近のイベント情報の掲示や講座の案内などセンター利用者への情報提供をサポートする。」を追加。
- LB2として、「物販用の展示机をカフェの入口に配置する。」を追加。

ロビーの利用ルールについて

- ロビーの利用ルールの中に、市民のためのコミュニティスペースとしての利用を優先する旨を明記する。

ロビーの夜間利用について

- LB2に以下の内容を加える「他の利用者に迷惑がかからないようにマナーを守って利用する」

ピロティについて

- LA1は全文削除。
- LB1は全文削除。
- LB5 (LB4と統合可能?)として、「ピロティの壁際にカフェテーブルと椅子を置く。」を追加。
- LC1、~~ポスターによる~~を削除。
- LC4として、「生涯学習センターの営業時間およびきららカフェの営業時間を明示する。」を追加。
- LC5として、「きららカフェの看板を道路側へ寄せる」を追加。
- ピロティの円柱横のベンチの位置をスロープの邪魔にならない場所に変更する。

その他

- 運営会議が、協定書に則して、経費の収支状況を整理し、報告する。

◆次回打ち合わせ日程

平成29年2月20日(月) 13:30~15:30 鎌倉市生涯学習センター

※通常より時間を延長して、報告書をまとめる作業を行いますので、ご承知おきください。

◆次回までに

以下のような担当割で報告書の作成を各々進める。次回までに原稿を持ち寄って整合性を調整する。()内が担当者名。

表紙(担当…西畑)

1. はじめに(担当…宇治)
2. 目次(担当…西畑)
3. 現状・課題(担当…押山)
4. 基本方針・コンセプト(担当…西畑)
5. 他市の視察(担当…渡邊)
6. アンケート内容(担当…浅野)

7. ワークショップ 内容 (担当…浅野)
8. 協議内容 (担当…西畑、浅野)
9. 提案について (担当…西畑、熊倉)
10. 資金の調達について (担当…西畑)
11. おわりに…委員の思いなど (担当…全員)
12. 付属資料…議事録、家具・什器カタログ、写真、検討委員会名簿

以上

開催日時	会議名			開催場所
29年2月20日(月)	鎌倉生涯学習センターロビー活用検討 委員会第10回会議			きらら鎌倉 セミナールーム
13:30 ~ 15:30				
主催	ロビー活用検討委員会		会議の種類	
司会	宇治	書記	西畑	時計係
必読資料	ロビーのコンセプトと提案(修正版)			
必携資料				
出席者	宇治、熊倉、小久保、竹沢、朴沢、押山、青木、渡邊、阿部、西畑 欠席者：浅野 (敬称略)			
議 題				
◆報告書の構成を確認する。				
◆各委員の担当原稿のチェックを行う。				

経過 (発言者と内容)
省略

結 論			
■次回は今回の修正点を反映した完成形をチェックする。			
■事業の収支報告を作成する。			
次回開催日(予定)	次回開催場所(予定)	議事録作成日	議事録作成者
3月21日16:00~	鎌倉生涯学習センター	29年2月21日(火)	西畑

開催日時		会議名			開催場所	
29年3月21日(火)		鎌倉生涯学習センターロビー活用検討 委員会第11回会議			きらら鎌倉	
16:00～17:00					セミナールーム	
主催	ロビー活用検討委員会			会議の種類		
司会	宇治	書記	西畑	時計係		
必読資料	コミュニティカフェを目指した鎌倉生涯学習センターロビーの活用					
必携資料						
出席者	宇治、熊倉、小久保、竹沢、朴沢、押山、青木、渡邊、阿部、西畑 欠席者：浅野（敬称略）					
議 題						
◆報告書の内容をチェックし、全員で読み合わせた。						

経過（発言者と内容）	
・報告書のタイトルを「コミュニティカフェを目指した鎌倉生涯学習センターロビーの活用についての検討報告書」とする。	
・協働事業報告会の日程を地域のつながり課に確認する。→6月3日(土)予定。	
・報告会の後、本報告の内容を生涯学習センターのホームページに掲載する。	

結 論			
■3月28日までに報告書を完成させる。			
■事業の収支報告を修正する			
次回開催日(予定)	次回開催場所(予定)	議事録作成日	議事録作成者
		29年3月22日(水)	西畑

ロビー活用検討委員会 事業費収支報告書

収入の部

	単価	数量	単位	金額	
事業費	一式			120000	
合計				120000	

支出の部

	単価	数量	単位	金額	支払い先
会議日当(交通費含む)	※詳細は別紙参照			86000	※各委員、別紙支出明細参照
会議資料印刷代	2	650	枚	1300	※鎌倉市市民活動センター運営会議
回収経費	1000	5	人	5000	※回収担当委員(小久保、竹沢、阿部、渡邊、熊倉)
ワークショップ					
資料図面製作費	一式			15000	※熊倉洋介建築設計事務所
図面印刷代	20	50	枚	1000	※熊倉洋介建築設計事務所
事務用品費	一式			700	※熊倉洋介建築設計事務所
図面・仕様書作成費	一式			11000	※熊倉洋介建築設計事務所
合計				120000	

会議日当明細 ※ 1回あたり1000円/人 交通費含む

単位:円

委員名	第1回 5月16日	第2回 6月13日	第3回 7月13日	第4回 8月10日	Ws準備 9月3日	WS 9月4日	第5回 9月26日	第6回 10月24日	第7回 11月21日	第8回 12月20日	第9回 1月24日	第10回 2月20日	第11回 3月21日	合計
宇治 香	1000	1000	1000	1000	0	0	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	11000
熊倉 洋介	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	13000
小久保 和子	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	0	0	1000	1000	11000
竹沢 京子	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	0	1000	1000	1000	1000	12000
浅野 雅樹	0	0	1000	1000	0	1000	1000	1000	1000	0	1000	0	0	7000
阿部 栄子	1000	1000	1000	1000	0	1000	1000	0	1000	1000	1000	1000	1000	11000
渡邊 公子	1000	1000	1000	1000	0	1000	1000	1000	1000	0	1000	1000	1000	11000
西畑 直樹	1000	1000	0	0	0	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	1000	10000
合計	7000	7000	7000	7000	3000	7000	8000	7000	7000	5000	7000	7000	7000	86000

支払先	会議日当	回収経費	印刷代	ワーク ショップ	図面・仕様 書作成費	支払額
宇治 香	11000					11000
熊倉 洋介	13000	1000				14000
小久保 和子	11000	1000				12000
竹沢 京子	12000	1000				13000
浅野 雅樹	7000					7000
阿部 栄子	11000	1000				12000
渡邊 公子	11000	1000				12000
西畑 直樹	10000					10000
※鎌倉市市民活動センター運営会議			1300			1300
※熊倉洋介建築設計事務所				16700		16700
※熊倉洋介建築設計事務所					11000	11000
	86000	5000	1300	16700	11000	120000

市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業 評価シート

(28年度)

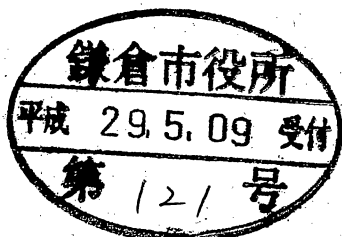
事業名 : コミュニティカフェを目指した
鎌倉生涯学習センターロビーの活用検討

担当課名 : 教育総務課 (鎌倉生涯学習センター)
市民活動団体名 : 特定非営利活動法人鎌倉市市民活動
センター運営会議

評価項目		役割担当	市民活動	行政担当	理由
			団体	課	
1	事業着手前	事業の協定書作成に当たり十分な話し合いができたか	○	○	
2		事業の協定書作成に当たり対等な立場で話し合いができたか	○	○	
3		事業の協定書の内容は充分であったか	○	○	
4	事業実施過程	事業は当初の事業計画どおりに行われたか	○	○	
5		事業は対等な立場で進められたか	○	○	
6		事業は互いの特性や資源を活かしあいながら進められたか	○	○	
7		事業は課題認識、目的、プロセスを共有し協力して進められたか	○	○	
8		課題が出た時、話し合いの場が持て解決できたか	○	○	
9	事業実施結果	設定された目標(評価項目)は達成されたか	○	○	
10		予算の執行は予定通りであったか	○	○	
11		定められた役割分担は妥当であったか	○	○	
12		定められた役割分担は守られたか	○	○	
13		市民サービスは向上したか	○	○	
14		市民と行政の協働事業は効果があったか	○	○	
15	今後の事業展望	事業を実施した結果を踏まえ、将来的な視点も含めた総括 (相互協議のまとめ)	(まとめ) 提案した内容は、費用・時間はかかるが、今後、実現に向けて前進させる。		

各々の評価は 達成：○ (10ポイント) まあまあ：△ (5ポイント) 不達：× (1ポイント)

備考：理由欄は、別紙で提出しても結構です。



鎌倉市 地域のつながり推進課 地域のつながり推進担当
電話23-3000 内線 2311